

「平成20年岩手・宮城内陸地震」調査報告会の開催について ～被害の状況と発生メカニズム等について～

平成20年岩手・宮城内陸地震では、大規模な地すべりや河道閉塞（天然ダム）、道路橋の落橋など、大きな被害が発生しました。

国土技術政策総合研究所、（独）土木研究所および（独）建築研究所の3機関では、地震発生直後からTEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）をはじめとする専門家（延べ100人・日以上）を現地へ派遣し、連携して被害状況調査、原因の分析、安全度評価や応急復旧等への技術支援に取り組みました。

この調査の結果について下記調査報告会を開催し、広く国民の皆様へご報告します。

- 日 時： 平成20年8月26日（火）13：00～17：00 （予定）
- 場 所： 三田共用会議所（東京都港区三田2-1-8）講堂（アクセスは別紙参照）
- 内 容： 分野毎（地震動、地形・地質、土石流・河道閉塞、大規模地すべり、下水道施設、ダム、道路橋、道路土工・斜面、建築物）の調査結果報告（詳細は別紙参照）
- 参加費： 無料
- 定 員： 500名

※参加の申込は、国土技術政策総合研究所企画部企画課となります。氏名、所属を明記の上、電子メールまたはFAXで次の宛先までお申し込み下さい。

（申し込み先）国土技術政策総合研究所企画部企画課（担当：田本）

電子メールアドレス：hokokukai2008@nilim.go.jp

FAX：029-864-1527

（申し込み締切り） 8月18日（月）

（内容の問合せ先）

独立行政法人 建築研究所
所 属 企画部企画調査課
氏 名 荒木・柴田
電 話 029-879-0640（直通）
E-mail kikaku@kenken.go.jp

プログラム(予定)

	報告概要	報告者
1. 特別講演		
	地震の概況とその特徴	横田 崇 気象庁 地震火山部 地震津波監視課長
2. 一般報告		
(1)地震動	観測された地震動特性	国土技術政策総合研究所 地震防災研究室 片岡正次郎 主任研究員
(2)地形・地質	震源域周辺の地形や地質の特徴、地表に出現した震源断層の調査結果等	(独)土木研究所 地質チーム 倉橋稔幸 主任研究員
(3)土石流・河道閉塞	駒ノ湯温泉周辺で発生した土石流や市野々原地区等で発生した河道閉塞の状況	国土技術政策総合研究所 砂防研究室 小山内信智 室長
(4)大規模地すべり	荒砥沢ダム周辺で発生した大規模な地すべりの状況	(独)土木研究所 地すべりチーム 藤澤和範 上席研究員
(5)下水道施設	岩手県奥州市や宮城県栗原市における下水処理施設や管路施設の被災状況	国土技術政策総合研究所 下水道研究室 榊原 隆 室長
(6)ダム	震源近傍のダム等の被災状況	(独)土木研究所 ダム構造物チーム 岩下友也 総括主任研究員
(7)道路橋	落橋した祭時(まつるべ)大橋他の主な道路橋の被災状況	国土技術政策総合研究所 道路構造物管理研究室 玉越隆史 室長
(8)道路土工・斜面	道路土工構造物や道路斜面の被災状況	(独)土木研究所 土質・振動チーム 杉田秀樹 上席研究員
(9)建築物	建築物の被災状況や免震建築物の地震時挙動	(独)建築研究所 構造研究グループ 河合直人 上席研究員

交通のご案内

三田共用会議所(東京都港区三田 2-1-8) TEL 03-3455-7591



- 東京メトロ南北線・都営大江戸線
麻布十番駅下車 徒歩5分(2番出口)
- 都営三田線・浅草線
三田駅下車 タクシー7分
- JR 田町駅下車 徒歩20分
- 都営バス ニノ橋バス停 徒歩2分
(系統)
[都06] 新橋駅-渋谷駅
[橋86] 新橋駅-目黒駅